

令和元年6月14日付【日刊建設通信新聞】
第2期中期行動計画<魅力ある業界へ10主要行動>
地域発展に中核的役割

魅力ある業界へ10主要行動

第2期中期行動計画
水期中

地域発展に中核的役割

サルタントや同協会を取り巻く状況の変化を自然環境面、社会環境面、国の政策面、協会自身の4つの側面から整理した上で、今後3年間の水コンサルタントと協会の行動の礎を示した。

10の主要行動では、水シンス全国上下水道コンサルタント協会(村上雅亮会長)は、2019年度から3年間を対象とする第2期中期行動計画(2019-2021)をまとめた。「新しい時代には魅力ある水コンサルタントをつくる」をキャッチフレーズに、急激な環境変化を踏まえながら、「地域の上下水道インフラマネジメントの一翼を担う者」として活動し、地域の発展に中核的役割を果たしていく決意を明示。社会的地位や知名度の確立、優秀な人材の確保・育成、官民連携やデジタル化に対応した業務領域の拡大、水のトータルコーディネートを目指すことも理念に掲げた上で、その実現に向けた「10の主要行動」を提示している。

第1期中期行動計画が策定された16年6月以降の水コン

テムを通して地域・都市を豊かにするため、地域・都市に応じた最適なシステムを提示し、リスクの少ない豊かな社会の実現を図るほか、業務領域を拡大し変化する事業体の課題に適時的確に対応。災害など緊急事には前面で素早く対応する。地域にとって最適で多様な官民連携策も積極的に提案していく。

さらに、上下水道分野へのBIM/CIMの先導的適用やAI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)などICTの徹底的活用、システム開発などソフトウェアの開発・活用の推進を積極的に行い、事業体の上下水道運営や事業執行の効率化、水コンサルタントの経営健全化と効率化に寄与。

経営基盤確立のため、歩掛・単価・基準・入札契約制度などの適時的確な改定・増補を要望・実現を図るほか、水にかかるとSDGs(持続可能な発展目標)の達成に近づく行動をとることで水コンサルタントの知名度や社会的地位の確立を目指す。

働き方改革を率先して実行し、業務の効率化・生産性の向上と品質の向上を両立させながら魅力ある職場を創出する。地域の抱えるさまざまな

課題解決に速やかに取り組むため、上下水道以外の分野も含めて多様な業界・企業・事業体などの連携を強化するとともに、上下水道分野の技術・技術開発面でのリーディングシップを発揮。グローバルな視点を持って国際展開にも貢献していくとしている。